

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者さんの希望や想いの訴えを十分に汲み取れず不安を与えている事がある。	・残機能を大切に、自分らしさを失わず安心して穏やかに過して頂く。	1、人間の尊厳とプライバシーについて話し合う。 2、講師を依頼して学習会 3、職員が心の余裕を持ち、コミュニケーション技術 について再度学習	10ヶ月
2	2	1、建物が町外の福祉ゾーン内の奥まった場所にありわかりにくい。 2、PR不足	・今年よりは来年一人でも多く地域の方が訪問される。	1、町の広報への掲載をして頂く 2、町内の集会場等へPRの為広報を掲示して頂く 3、利用者さんと一緒にGH広報の配布を続け、声かけをしてくる。 4、社協ボランティアコーディネーターへ相談、助言を頂く。	10ヶ月
3	35	夜間想定避難訓練のみで、実際に夜間の避難訓練は行わなかった。	・不安や混乱がなく、夜間の避難訓練もスムーズにできる。 ・職員も非常時の避難経路や場所を避難方法を把握、安全な避難誘導が出来る。	1、今迄どおり、月1回の避難訓練と通報訓練 2、避難訓練計画書に沿って行う。 3、暖かくなったら夜間の訓練も行う。 避難時の個別の観察 4、個人別に避難の移送手段をチェックしておく。	10ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。